

(様式2)

事業所名 ウェルフェア伊丹 グループホーム

目標達成計画

作成日: 平成23年 4月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9・33	ご家族等の不安点(ターミナルケアについてや入居継続可能なラインについて)等や疑問点を引き出していく工夫が必要になっている。	定期的に(運営推進会議)での課題としても挙げていき、当事業所での現状出来る対応等を理解して頂いたり、各フロアでも問題意識を持つ為に定期的な話し合いが出来る様に努める。	運営推進会議において毎回、議題としてあげ各ご家族の方に周知して頂く。	12ヵ月
2	7	虐待について研修を行っているが、より具体的な事例を用いて、お互いに理解を深めたい。	より具体的な事例を用いる事によりお互いに理解を深める事が出来る。	施設内研修において、具体的な事例を挙げ事例検討会を行い理解を深める。	5ヵ月
3	40	食事を楽しめる事が出来る支援において食事作りや片付けのみならず、献立を共に考えたりできる様、プロセスでも楽しんで頂ける工夫が必要である。	献立を考える段階も含め食事を楽しめる工夫を行う。	スタッフが献立を立案、調理をする日に合わせ、入居者様に「食べたいものや必要な食材、味付け」等を一緒に考え、調理も出来る事をして頂き、食べる楽しみだけではなく、献立を考える段階から楽しめる工夫をする。	3ヵ月
4		介護計画作成等について勉強会を行っているが、まだまだスキルアップの必要があると考え、スタッフ一人一人が理解を深める意識を継続する必要がある。	計画作成において、ケアプラン(個別援助計画)作成、モニタリング(プラン見直し)の家過程の再認識が出来る。	施設内研修において、計画作成担当者を中心に勉強会を実施する。研修の年間計画以外に随時組み入れていき、各スタッフと計画作成担当者の中でも意見交換を行っていく。	12ヵ月
5					